

令和4年12月15日

上越市長 中 川 幹 太 様

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について（意見書）

このことについて、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので提出します。

記

1 意見書の概要

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進に向けて、市として指定管理者である株式会社大潟地域活性化センターとともに、別紙を基（参考）に利活用促進のための取り組みを進めていただきたいこと。

2 意見書作成の経緯

大潟区地域協議会では、大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館（以下「鵜の浜人魚館」という。）が上越市唯一の温泉街で観光資源の大きなひとつ「鵜の浜温泉」の一角にあるにもかかわらず、利活用の促進が図られていない現状について見聞きしてまいりました。

また、近隣に上越体操場（ジムリーナ）が建設され、東京オリンピックのドイツ体操選手団の事前合宿の受け入れや、体操競技の大会及び合宿の開催による体操関係者の訪問、県立大潟水と森公園の利用者など、交流人口の拡大が期待されておりました。

しかしながら、これらの機会が必ずしも鵜の浜人魚館の利活用促進につながっていない現状については、上越市、特に大潟区にとっては極めて重要な課題として捉えていたことから、令和3年度から大潟区地域協議会の自主的審議事項として「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」をテーマに、これまで協議してまいりました。

そこで、鵜の浜人魚館の視察や施設職員の方々との意見交換及び今後の改善の方策や収支報告をお聴きするなかで、このたび地域協議会で協議してきた結果を別紙のとおりまとめたものです。

この意見書が利活用促進及び公費負担の軽減の一助になれば幸いと考えております。

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について（案）

今般、新型コロナウイルスの感染が未だ収束の兆しが見えないなか、関係各位においては大変厳しい状況にあるものと認識しております。

そのような中で本年10月29日・30日に鵜の浜人魚館開館25周年記念-秋の感謝祭が開催され、壁画制作お披露目会など多彩な催しが行われました。開館以来今日まで、地域住民の憩いの場、健康維持・増進の場としてこれまで営業されてこられたことに敬意を表します。この意見書を利活用促進の一助にいただければ幸いと考えております。

大潟区地域協議会としましても、市及び(株)大潟地域活性化センターと連携しながら鵜の浜人魚館の利活用の促進、大潟区の活性化、観光振興・交流人口の拡大に向け議論を深め、活動してまいりたいと考えております。

また、(株)大潟地域活性化センターへ当協議会でまとめた利用促進（案）をお伝えいただきますようお願いいたします。

○支援体制について

1. 新たに（仮称）人魚館サポータークラブ（NSC）を設立する

（1）設置目的

情報発信、イベントや館内演出のアイデア出し、環境整備等をサポートし、鵜の浜人魚館の利活用促進を図る。

（2）入会の呼びかけ

入会の呼びかけは、(株)大潟地域活性化センター及び趣旨に賛同する個人が、下記の人材、個人に対し呼びかける。

- ・鵜の浜人魚館が必要としているインターネットを使つての情報発信
- ・PRできる人材・環境整備をすすめる人材（花壇の花植、土手の草刈りなど）
- ・大潟区在住・在勤の個人、趣旨に賛同する個人

（3）事務局の設置

鵜の浜人魚館に置き、会員登録制とする。

2. 人魚館運営協議会を設立して、大潟区内の各種団体との協議・連携の場とする

（1）設置目的

鵜の浜人魚館は、公の施設であり、大潟区の温浴施設でもあるので、地域住民の憩いの場、大潟区内の工場や商業・福祉施設や病院などで働く人達の健康維持・増進の場でもあるので、広く利用を促し、意見を求め、運営に活用する。また、修繕等施設に関する情報共有や、他の観光施設等との情報交換・連携を図る。

（2）参加を呼びかける団体（案）

大潟観光協会、まちづくり大潟、（仮称）人魚館サポータークラブ、大潟商工会、大潟区町内会長協議会、NPO 法人大潟スポーツクラブ、大潟区総合事務所など

（3）呼びかけ

呼びかけは、大潟区地域協議会及び趣旨に賛同する個人が行う。

○その他

1. 各種イベントのPRはインターネットを使用すると共に、大潟区内各町内会への回覧で事前に幅広く周知し、関係団体、企業、学校関係者に協力を依頼されたらどうでしょうか。
2. 鵜の浜人魚館開館 25 周年記念壁画制作において、長野県内にインターネットでクラウドファンディングを行ったように、施設改修などに多額の資金を要する場合は新潟県内外の個人および団体を対象に呼びかけたらどうでしょうか。

(仮称) <人魚館サポータークラブのイメージ>

- ・事務局は人魚館に置き運営は人魚館と運営サポータークラブで行う
- ・大湊区民他、他地域にも呼びかける（大湊在住・在勤）
- ・個人による登録制
- ・無償または一部有償ボランティア（技術や経験を有するものは有償とする）
- ・イベント開催の企画運営費などの事業予算は（仮称）地域独自の予算を活用
- ・既存の応援隊はそのまま残す

大湊健康スポーツプラザ
鵜の浜人魚館

支援・協力

仮称<人魚館サポータークラブ>（運営サポーター）

人魚館が必要としている人的サポート
「人魚館」といえば、〇〇といったイメージづくり

情報収集

健康・地域福祉

連携

観光

連携

大湊区民の声を反映するワークショップ
の開催
こども、高齢者、各団体 その他

近隣観光協会
キャンプ場
ジムリーナ・大湊水と森公園

<運営協議会>
修繕や長期的な計画などの
協議・連携の場

人魚館・運営サポーター役員
まちづくり大湊
観光協会・鵜の浜温泉
商工会（地元企業）
町内会長協議会
大湊区総合事務所
NPO 法人大湊スポーツクラブ
他

活サ
動ポ
ー
タ
ー
ク
ラ
ブ
の
内
容

食事・土産

食事メニュー
おみやげ開発

イベントの企画

季節行事
イベント等
展示会開催
講演会
館内の有効活用

館内演出
サービス

健康教室運営
館内の装飾
送迎
おもてなしサービス
区内の企業福利厚生

施設環境整備

草刈、掃除
花植え
小規模修繕

情報発信・PR

SNS・facebook
HP
チラシ作成
メディア対応
看板等作製
アンケート実施

人魚館

地域協議会委員からの意見集約

存在意義：健康増進施設、憩いの場、地場産業、雇用の場

どのような施策：広報・PR、施設の使い方・活用方法、区内外の各種団体・企業からの利活用、人材・支援者・協力者、みやげもの・食事・スイーツ（女性など）、ワークショップ（人魚館の人たち、地協の人たち、）勉強会、その他

「人魚館と言えば〇〇」キャッチフレーズ、イメージ作り

いつ、誰が、どのように

季節ごとにやることを決めると良い

現状調査（目的をはっきり）

なぜ利用が減ったのか？原因・要因は何か？
上越市創造行政研究所への依頼も検討

食事・お土産

スイーツ作り（女性向け）
新しい特産品を作る
キャンパー向け食事・お土産
屋外ビアガーデン
13区の特産品の販売
土産（みやげ）処
ここでしか食べられないもの

誰に訴求する？

上越地域内
老人会（健康づくり、楽しみづくり）
周辺企業（福利厚生）
関係人口
観光客

※そこに「行きたい」と思えることが大切

温泉の効用・効能

プール
癒やし



明るいイメージ（周辺も含める）

健康作りの場
テーマパーク的な雰囲気
花いっぱい（鵜の浜地域）

景観づくり

海が見える
夕陽
赤いろうそくと人魚
荒波



恋がかなう

シンボリックな建物・設備
演出・行事は明るい色で

サポーター

みんなの人魚館と思えること
利用者の声を聞く、アンケート実施、
意見交換会

ファンクラブという組織名称
（事例：柏崎ファンクラブ）

連携

区内の福祉施設
鵜の浜温泉旅館と組む
小中学生に活動に入ってもらう
キャンプ場・水と森公園と連携
キャンパーとの連携
区の企業に利用してもらう
ジムリーナ
他のホテル等との連携
まちづくり大渦、ドローンあり
利用者と連携した集客

野菜や果物等の農家、漁業関係者
上越教育大学などの先生と連携

環境整備

花いっぱい
公園が広い
環境整備の人員が足りない
全体的な景観作り
草刈り

ワークショップ

共通認識、アイデア・情報交換
人魚館関係者と地協委員
区内の議員、町内会との対話

小中高校生にも意見を聞く
広くアイデア募集
夏向けなら4月5月開催して施策実施

経営主体の理念・方針・施策は？

株式会社大渦地域活性化センターの
役割は？
Jーホールディングス(株)の役割は？

上越市への提言は？

いつどのような内容を提言するか？
提言前に市側に依頼することは？

PR

#上越もよう（市のキャンペーン、
インスタグラム）
ドローン撮影
LINEを使う
Facebook
Twitter
YouTube
ホームページ
看板設置（あと何Km）
鵜の浜アーチ、案内板
ブルボンの入り口（木）
小山作之助にちなんだイメージ作り
人魚館のお知らせ発行（チラシも）

観光PR紙への掲載依頼

イベント等

健康をアピール：体を動かす企画と温泉
講師や主催者（団体）をさがす
イベントに地域外の人にも参加してもらう
ストレッチ教室等のイベントを月1回大広
間で開催し参加してもらう
地協委員主催でワークショップ
グルメキャンペーン
フォトコンテスト
温泉マイスター
ヨガ
整体
海岸でスキー
若者向けイベント
シンポジウム開催、宿泊も誘致

お稽古事や会議での利用
講師をさがす

設備、サービス

イメージアップのための修繕・内装
設備の見直し
ランニングマシンなどのジム設備
ランニング後の入浴サービス
プールの昼の利用→ビデオを流す

バスの活用（人魚館、社協）
大渦観光協会の移転
上越地域医療センター病院の出先
（健康施設）

大潟区地域協議会での主な審議経過

自主的審議事項「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用進について」

令和3年度

月 日	項 目	主な内容
6月10日	木 第3回地域協議会	今後の進め方を検討
7月6日	火 鵜の浜人魚館の現地視察	鵜の浜人魚館の館内視察
8月19日	木 勉強会	視察結果を委員内で情報共有
9月16日	木 第5回地域協議会	今後の進め方を検討
10月28日	木 第6回地域協議会	鵜の浜人魚館職員より現状について報告
11月10日	水 キューピッドバレイ視察	キューピッドバレイの取組を視察
11月25日	木 第7回地域協議会	2班に分かれてグループ討議
12月23日	木 第8回地域協議会	2班に分かれてグループ討議
1月27日	木 第9回地域協議会	2班に分かれてグループ討議
2月24日	木 第10回地域協議会	2班の意見を集約しての検討
3月10日	水 検討会	各委員の意見整理
3月17日	木 第11回地域協議会	各位委員の意見を集約

令和4年度

月 日	項 目	主な内容
4月28日	木 第1回地域協議会	意見交換会の実施方法について
5月24日	火 鵜の浜人魚館職員と意見交換会	地域協議会の検討内容や鵜の浜人魚館の現在の取組等についての意見交換
6月13日	月 第1回検討会	意見交換後の整理
6月16日	木 第4回地域協議会	具体的な支援の方法を検討
6月21日	火 町内会長協議会役員との意見交換会	町内会長の意見を聞き取り
7月12日	火 第2回検討会	意見交換後の整理
7月21日	木 鵜の浜人魚館訪問	人魚館応援隊の現状を確認
7月28日	木 第5回地域協議会	具体的な支援方法を検討
8月1日	月 アンケートの実施	鵜の浜人魚館利用者向けにアンケート
8月9日	火 第3回検討会	具体的な支援内容を整理
8月25日	木 第6回地域協議会	具体的な支援方法を検討
9月6日	火 第4回検討会	具体的な支援内容を整理
9月22日	木 第7回地域協議会	具体的な支援方法を検討
10月5日	水 第5回検討会	意見書まとめ
10月14日	金 第6回検討会	意見書まとめ
10月27日	木 第8回地域協議会	意見書まとめ
11月24日	木 第9回地域協議会	意見書修正